

元矢板市収入役 藤本 ^{かずひさ}三久さんが
地方自治功労者表彰を受賞

市役所で6月30日、「地方自治功労者表彰」を受賞した藤本 三久さんへの表彰伝達式が行われました。藤本さんは、昭和33年4月から平成2年9月まで市職員として32年間勤務し、その間、農林課長や経済部長を歴任。平成2年10月から平成4年3月まで、矢板市収入役として公務に専念し、矢板市政への多大な貢献が認められ受賞となりました。



次世代の担い手育成のために
那須りんどうの会様より子どもたちへ寄附

市役所で6月23日、寄附贈呈式が行われ、「明るい社会づくり運動 那須りんどうの会」様から教育振興のための寄附をいただきました。藤田会長は、「これらは、古紙やアルミ缶などを回収し得られた利益の一部で、地域の皆さんの協力があって実現した。ぜひ、市の次世代の担い手育成のために活用し、地域に還元してほしい」と話しました。市では、子ども未来基金へ積み立て、子どもたちのために活用します。



県内初！こどもまんなか応援サポーター宣言
子ども一人ひとりに寄り添う社会づくりを

市は6月23日、「こどもまんなか社会」の実現を目指すこども家庭庁の趣旨に賛同し、県内初となる「こどもまんなか応援サポーター」宣言を行いました。市長は、「子どもをまんなかになく据えること、そしてどんな子どものことも考えていくことが重要。子どもや若者の意見を尊重し、一人ひとりの子どもに寄り添うということの重みを考えて、『Yaita こどもまんなかプロジェクト』を前に進めていきたい」と話しました。



泉小学校で恒例の交通安全七夕集会
地域連携で、今年も大きな七夕飾りが完成

泉小学校で6月30日、七夕集会が行われ、児童の願い事が書かれた短冊を付けた交通安全七夕が、正門前に設置されました。これは、地域とともに交通安全の意識を高めることを目的に、交通安全協会泉支部や泉小コミュニティ・スクールなどが連携し、毎年行っているものです。参加した方は、「児童の愛らしい願い事に、心温まりました。これからも泉地区の地域力で子どもたちを見守りたい」と話しました。

